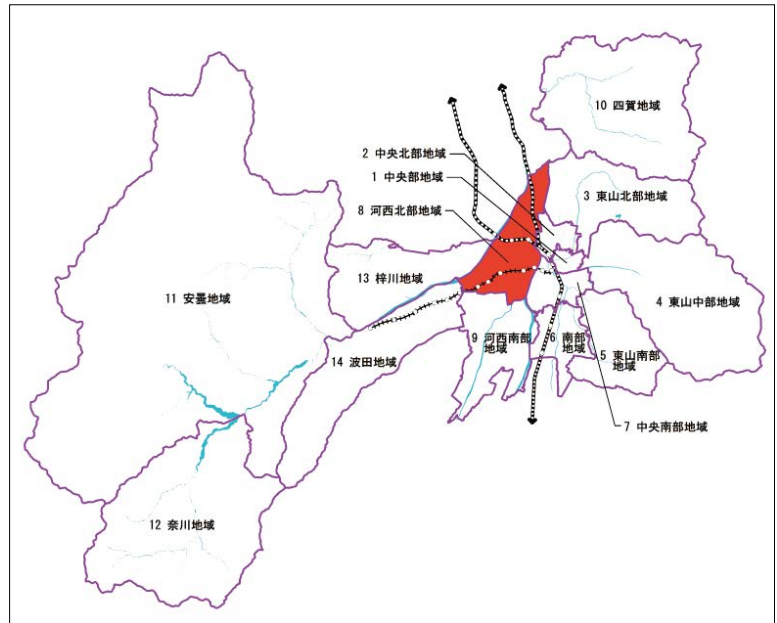


8 河西北部地域（島内地区・島立地区・新村地区）

（1）地域の概況

河西北部地域は、梓川と奈良井川にはさまれた地域であり、長野自動車道以東は住宅地、長野自動車道以西は豊富な水量を活かした大区画の水田からなる広大な田園地帯となっています。

松本インターチェンジと中心市街地を結ぶ国道158号沿道には、松本合同庁舎などの官公庁や業務施設等が立地しています。また、アルピコ交通上高地線の沿線には松本大学が立地しています。島内地区にはクリーンセンター、あずさセンター、エコトピア山田等、市の重要な廃棄物処理施設があります。



国道158号では、観光地や周辺自治体、中心市街地へ向かう交通量が多いため、交通混雑の解消が課題となっています。また、松本市西部地域における交通空白を解消するため、西部地域コミュニティバスが運行されていますが、生活を支える移動手段の利便性の維持、向上が引き続き課題となっています。市街地の浸水が想定されている区域では、安全に避難できる対策が課題となっています。

（2）地域別構想

① 将来像

「美しい川に生まれ、雄大なアルプスを望む緑豊かな田園のまち」

- 松本市の新たな発展を担う複合業務地
- 田園景観と調和する緑豊かな住宅地
- 良好な営農環境と調和した快適で活力ある田園地帯

② まちづくりの方針

地域拠点である島内駅周辺においては、生活に必要な施設の立地の維持、誘導を図るとともに、都市型住宅を誘導します。

また、その北側から西側一帯の田園地帯では、アルピコ交通上高地線や国道158号等の幹線道路、松本大学等が立地する地域特性を踏まえて、公共交通のあるべき姿の検討と継続的な改善に取り組みながら、既存の集落地における生活利便性の向上を図るとともに、農地の保全と営農環境の整備を図ります。

③ 拠点形成と土地利用

本地域の拠点及び土地利用区分を次のように定めます。

拠点形成	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域拠点（島内駅周辺） ● コミュニティ拠点（島内地区、島立地区、新村地区の地域づくりセンター周辺） ● 産業・研究拠点（松本大学） 		
	土地利用	都市的開発整備ゾーン	商業業務系
産業系			—
住宅系			都市型住宅地区（奈良井川沿川の市街地）、低層住宅地区（旧国道147号沿道地区及び小宮団地等）
農業環境保全ゾーン		田園集落地区（河西北部地域一帯に広がる農地、農村集落）	
自然環境保全ゾーン		—	



島内駅周辺エリア（居住誘導区域）の住宅



松本大学

④ 整備方針

【施設整備】

○幹線道路網の形成

- 交通渋滞の解消に向けた幹線道路の優先整備を促進します。

○IC周辺の道路整備

- 中部縦貫自動車道（松本波田道路）のインターチェンジ整備に合わせて、周辺道路の見直しを図ります。

○交通の安全性の向上

- 幹線道路及び生活道路における歩行者と自転車の安全の確保を図ります。

○河川や田園地帯を巡る自転車空間の形成

- 河川や田園地帯を快適・安全に通行、走行できる自転車通行空間の形成を図ります。

○既存IC周辺における地域産業との連携

- 松本インターチェンジ周辺については、交通利便性や既存施設の立地状況を踏まえ、地域資源の活用方策について検討します。

○産業誘致のための土地利用の検討

- 新村インターチェンジ周辺については、道路整備に伴う産業用地需要の変化や既存の産業団地の状況、不整形で生産性が著しく低下した農地の活用を考慮しながら、農地の良好な営農環境と調和し

た適正な土地利用を検討します。

○市街地における防災・避難空間の充実等

- 災害発生時の市街地における防災・避難空間の充実等に向けて、狭あい道路の拡幅を推進します。
- 河川氾濫による甚大な浸水被害が想定される区域では、既存公共施設の安全の確保を進めるとともに、民間建築物の災害リスク低減に向けた対策を検討します。

【公共交通】

○鉄道の利便性の向上

- 地域拠点である島内駅や交通結節点である新村駅と都市中心拠点へのアクセス性の維持・向上に向け、交通事業者等との連携によるアルピコ交通上高地線、JR大糸線の利便性向上を図ります。

○幹線バス路線の利便性の維持、充実

- 拠点間の移動を支える幹線バス路線の利便性の維持、充実に向けた路線・本数・時間の見直しを図ります。

○幹線バスを利用しにくい地区の利便性の向上

- 鉄道や幹線バスへの接続により中心市街地への移動や生活関連施設への移動を担うバス路線について、利用状況等を考慮した利便性の向上を検討します。

○新村駅周辺におけるパークアンドライドの充実

- 鉄道で中心市街地へ移動しやすい交通環境を整備するため、パークアンドライドの充実を図ります。

【環境保全形成】

○松本平を象徴する田園集落景観の保全

- 集落地内における一団の屋敷林の保全、農業施策との連携を図ります。

○河川における生物多様性の保全

- 奈良井川の河川敷等の自然環境の保全を図ります。
- 快適な歩行者空間の形成、植栽による良好な景観形成などに配慮し、市民の安らぎの場となる河川緑地の整備を促進します。

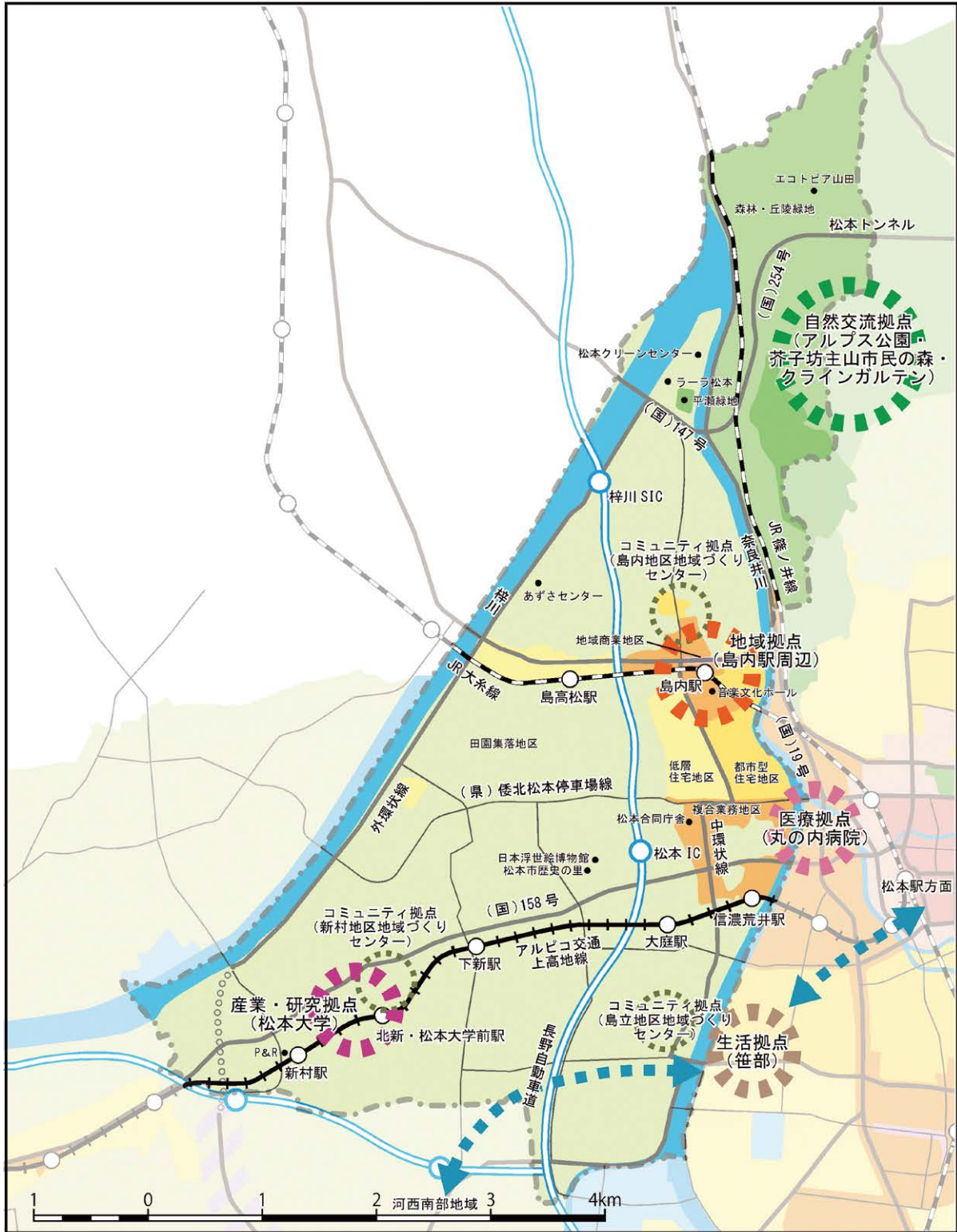
○田園景観と調和する住宅地景観の形成

- 既存の住宅地における昔ながらの魅力ある農村景観の保全を図ります。
- 主要な道路では、歩道のデザイン化や緑化を進め、既存の歴史・文化施設や史跡と一体となった田園集落景観の形成を図ります。

○陸の玄関口にふさわしい景観の形成

- 幹線道路の沿道では、街路樹の緑と調和した風格と賑わいのある街路景観の形成を図ります。
- 梓川を軸とした魅力的な広域の景観形成について、在り方の検討を進めます。

●河西北部地域 整備方針図



凡例

土地利用区分

- | | |
|-------------|-----------|
| ● 中心商業業務地区 | ● 都市型住宅地区 |
| ● 都市型複合業務地区 | ● 低層住宅地区 |
| ● 複合業務地区 | ● 田園集落地区 |
| ● 地域商業地区 | ● 山間集落地区 |
| ● 学術・医療地区 | ● 森林・丘陵緑地 |
| ● 健康・スポーツ地区 | ● 公園緑地 |
| ● 工業地区 | ● 河川 |
| ● 流通業務地区 | ● 交通施設用地 |
| ● 複合産業地区 | |

道路種別

- 高速道路
- 高規格道路
- 主要幹線道路
- 幹線道路

公共交通

- 鉄道 (JR)
- 鉄道 (その他)
- バス (主要幹線、幹線)